

2026 年 10 月 8 日

株式会社 Helical Fusion

富士電機株式会社

フュージョンエネルギーの実用化に向けて、Helical Fusion と富士電機が資本業務提携

株式会社 Helical Fusion（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田口 昂哉、以下「Helical Fusion」）と富士電機株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長 CEO：北澤 通宏、以下「富士電機」）は、フュージョンエネルギー（核融合）による「実用発電」の達成および産業創造に向けた資本業務提携を締結し、富士電機は、Helical Fusion が主導する「ヘリックス計画」の公式パートナーとして参画しましたので、お知らせいたします。

フュージョンエネルギーは、太陽などの恒星の内部で起きている核融合反応を地球上で再現することで、電力などのエネルギー源とする技術です。発電の過程で二酸化炭素を排出せず、海水等から燃料を豊富に採取できる持続可能性と、ベースロード電源を担えるエネルギー効率を両立しうることから、次世代のクリーンエネルギーとして実用化が期待されています。

現在、世界各国において、フュージョンエネルギーの商用化に向けた開発競争が激化しています。

Helical Fusion は、世界に先がけた 2030 年代の核融合発電所の実用化に向けた「ヘリックス計画」を推進しています。Helical Fusion が採用する「ヘリカル方式」は、日本で発明され、約 70 年に渡り国立大学や公的研究所での研究開発が行われてきた結果、発電所に必須の「正味発電」「定常運転」「保守性」のすべての要素の実現を見通せることから、商用発電所に適した特性が評価されている方式です。ヘリックス計画は、その知見を活かし、実用発電所をつくりあげるために、日本のものづくりをはじめとした産業の力を結集する取り組みです。

富士電機は、エネルギー・環境事業で持続可能な社会の実現に貢献していくことを経営方針の柱に掲げ、エネルギーの供給サイドから需要サイドまで、クリーンなエネルギーの創出、エネルギーの安定供給、省エネや自動化を実現するソリューションを広く展開しています。

富士電機は 2025 年に、Helical Fusion と高温超電導マグネット用の電源装置の供給契約を締結していますが（注）、今般、「ヘリックス計画」の公式パートナーとなることで、Helical Fusion が進める統合実証装置「Helix HARUKA」や、同社が発電初号機と位置付ける「Helix KANATA」の技術開発や事業開発の具体的な検討に参画し、次世代のクリーンエネルギーとして期待されるフュージョンエネルギーの周辺技術に関する知見を蓄積することが可能となります。

Helical Fusion と富士電機は、フュージョンエネルギーの実用化を目指し、エネルギーの安定供給、ひいては持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(注) ニュースリリース「商用発電所の鍵「高温超伝導マグネット」開発で富士電機と基幹部品である電源装置の供給に関する契約を締結」

※本リリースに掲載している情報は発表日時点のものであり、予告なく変更する場合もございます。
あらかじめご了承ください。